

文化振興計画 事業評価シート

事業名		文化サロン 文化講演会・資料展		担当課 施設名	（ 文化振興課 名勝大乗院庭園文化館 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)－②、(10)－②	
	基本施策	2 - 05	文化振興			
	施策	2 - 05 - 01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成22年度3月	実施回数	6回	
日時	文化講演会3月26日、資料展2/27～3/29			会場	当文化館内会議室、展示室	
目的	名勝大乗院庭園の発掘調査と保存整備に長年にわたり尽力いただいた奈良文化財研究所の協力の下に文化サロンを実施して、当庭園の理解度を深め、庭園の発祥地としての奈良の紹介に繋げたい					
内容	文化講演会：「日本における庭園の歴史と大乗院庭園」と題して庭園研究家の奈良文化財研究所小野副所長より記念となる講演をして頂いた。参加者は定員30名のところ43名の応募があり抽選で37名が受講された。資料展：同じく奈良文化財研究所のご協力により、平成24年度に作成いただいた「発掘された庭園一つちに埋もれた古の庭」の再展示を行ない、2100名の方に見ていただいた。					
事業費（円）						
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	13,000	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	9,000	支出	22,000
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	11,174	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	11,100	支出	22,274
事業成果						
アンケート等実施の有無 （アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入）				文化講演会：回収数27 70%		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	講演会は定員以上の参加を得た。資料展は1700名を目標として結果2100名の方に見ていただけた。		
	参加者満足度		10	アンケートの講演に対する感想・意見の内容は好評価であった。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	特に今回の講演は定員の1.5倍の応募数となった。長年にわたり奈文研に協力頂いていることは大きな成果であり、大変感謝している。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	文化資源にとって最先端の調査・研究機関である奈良文化財研究所の研究員が主な担当者となっている。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	受講者のエリア別では奈良市内50%、奈良県内奈良市外27%、県外23%となりエリアに広がりがあった。男女別は男性78%、年齢別では65歳以下が33%で偏りが見られた		
総合評価（自動計算）			10			
参加者や協働相手からの意見			参加者からは講演の内容が学問的で、非常に分かりやすいとの感想が7割を占め、また大乗院庭園のことが深く知り得たとの感想も多く好評価であった。「発掘された庭園一つちに埋もれた古の庭」資料展は発掘調査によって整備保存されている庭園の紹介と、特に大乗院庭園の発掘調査の成果が発表された			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	庭園の一般公開と同時に奈良ホテルが指定管理者となって以降、奈良文化財研究所の協力により年1回の文化サロンが継続開催でき、27年度が6回目となっている。過去の5回の資料展パネルは当文化館が預かり、年に2回前後再資料展示を行なっている。繰り返し展示の必要がある資料と考えている。過去資料パネルを作成いただいた担当の方に講演いただいたが、今年度は特に当庭園のバウフラットの解説文にも関係の深い小野副所長に小野様の退官を機に講演を依頼し、実現した記念講演となった。			この文化サロンは奈良文化財研究所の一時的なご好意によって実現できていると考えている。今後は資料の作成と講演の謝礼費用を値上げできるよう検討を加えたい		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		各種お茶会の開催・夜間の催し		担当課 施設名	文化振興課 (名勝大乗院庭園文化館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)-④、(14)-①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成22年度	実施回数	茶会年5回前後、夜間の催し燈花会5回、観月4回、大文字観賞2回	
日時	茶会5/24、11/21、8/7、8、9/27 夜間の催し 8/7,8燈花会 8/15大文字送り 火観賞 9/27観月の夕べ			会場	茶会：館内和室、茶室 催し：大乗院庭園内	
目的	庭園と深い関係のお茶会は庭園の理解を深める事業とも言え、また当文化館文化施設のお茶室を有効に活用できる					
内容	春と秋に庭園観賞お茶席を開催、合計で予算86名のところ83名が参加された。燈花会：庭内に300個のろうそくを点灯、大池に移り光の景色を造るが今回は天候に左右され2日間で143名と半減。大文字送り火観賞：今回が2回目ですと夜で151名が入園された。観月の夕べ：天候良く広報も効果があり一夜でお茶席90名、入園者184名と盛況だった。(観月の夕べは主催は庭園管理協議会 当館は共催にて収支は協議会)					
事業費（円）（観月の夕べは除く）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	89,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	86,000	支出	175,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	114,340	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	50,500	支出	164,840
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		8	夜間催しの内「観月の夕べ」と「大文字観賞」は盛況でしたが、燈花会は雨が一時降ったとはいえ厳しかった。お茶会の併用は観月の夕べと燈花会で実施したが観月は盛況、燈花会は厳しかった。		
	参加者満足度		10	天候により参加者数に影響が出てしまうが参加された方からは評判は良いと思う、上記以外に共催事業のボランティア団体・みどり会による無料茶会は春と秋の2回を実施どちらも準備した300人分が無くなった。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	当館主催のお茶会是一回当たり8名前後のお茶会運営スタッフに対して1回1万5千円の謝礼で実施できており、みどり会茶会については600人のお客様にお茶を楽しんでいただいております。協力者が居られる結果と考えます。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		9	自主事業のお茶会でお世話になっている方は元奈良茶華道連盟の会長をなされた方であり、充分なおもてなしができています。また夜間の催しについては足もと灯等を設置し多くのスタッフを得て実施しています。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	観月の夕べについては特にJR西日本の主要駅にチラシを配置した結果広いエリアから来ていただいていると思う。		
総合評価（自動計算）			9			
参加者や協働相手からの意見			参加するお客様が少なかった燈花会においては8名前後のお茶会運営スタッフに申し訳なかった。特に庭園の夜間事業は雨によって大きく左右することは致し方ない部分でもあるが奈良全体の燈花会のお客様を呼び込めていないと考えられ、広報で改善を加えていきたい。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	夜間催しの内、燈花会は過去最も少ない入館者数となった。観月の夕べと大文字送り火は沢山のお客様が参加され、いずれも前年を上回ることができた。			燈花会について奈良全体の燈花会の広報内容に当庭園燈花会を組み込むことができればと思う。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		庭園講座・庭園研究講座 (庭園講座2回 庭園研究講座1回)		担当課 施設名	(文化振興課・ 名勝大乗院庭園 文化館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)ー②、④	
	基本施策	2ー05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成23年	実施回数	13回	
日時	庭園講座5/24、12/5 研究講座10/17			会場	奈良国立博物館内(5月)、大乗院庭園文化館内	
目的	中世の名勝庭園文化施設として日本の庭園文化を紹介する講座を開催したい、当庭園の理解を深めて誘客を図ると共に新しい庭園研究等の情報を提供して奈良の庭園文化の紹介に繋げたい					
内容	庭園講座：27年5月第9回庭園講座「八層庵」(元大乗院茶室)を見学しての講座で定員30名ところ43名が参加 12月第10回「奈良公園周辺の植生」紅葉の庭園を觀賞しながらの講座、定員の30名が参加 庭園研究講座：「門跡寺院の庭園文化・積翠園での遊興」を10月に開催、28名の受講者でほぼ満席となった。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	49,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	27,000	支出	76,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	36,821	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	30,000	支出	66,821
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)			第9回講座：回収数37 88% 第10回講座：回収数27 90% 庭園研究講座：回収数19 70%			
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	全体で定員以上の参加を得た。		
	参加者満足度		9	アンケートの講座に対する感想・意見の内容に好評価を得ている。		
	市民参画・協働の成果はあったか		9	各講座に若干の差はあるものの多くの市民から受講希望を頂いている。講師については奈良文化財研究所より協力を得ている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	庭園講座は当庭園にゆかりの森羅に関係する方で海外でも活躍されている造園家に講師をお願いしている。庭園研究講座は奈文研の協力の下で主に研究員に講演いただいている。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	受講者の男女別では男性62%女性32% 年齢別では65歳以下が45%となっている。想像の範囲と思われるが若い方が増えることも必要と考えます。		
総合評価(自動計算)			9			
参加者や協働相手からの意見			参加者の評価はアンケートの講演に対しての感想・ご意見を記入いただいておりその内容は高評価を得ている。また庭園講座については年2回実施して5年間継続しており今後も続けたい。庭園研究講座は今回で3回目(年1回)である。奈良文化財研究所の協力を得て今後に繋げたい。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	今年度の庭園講座は春に元大乗院庭園に存在した茶室・含翠亭を移築先の奈良国立博物館へ見学に行くことができ特色のある講座となった。秋は館内の講座に戻り、講座の後に紅葉の庭内を引率して周遊した。2回で定員60名のところ受講者数は72名となり盛況であった。庭園研究講座は奈良文化財研究所の協力の下、学術面のテーマの下で新しい情報を提供することを目的として今年で3回目となった。庭園文化の新しい発信ができていていると考えています。			受講者獲得のために広報に注力したい。長年300円の受講料としてきたが比較検討して400円としたい。		